



ご存じですか？ 被災した宅地や建物の危険度を 知らせる目印です

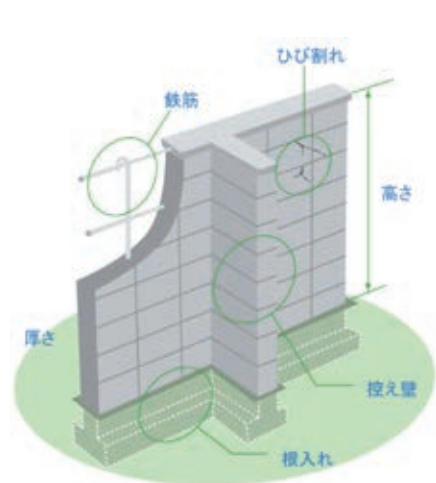
大規模地震や大雨などで被災した場合に、被災した宅地や建物の危険度を判定し、二次被害の軽減・防止を図る制度があります。

判定結果は、それぞれ3種類のステッカーを見えやすいところに貼り付けて表示します。

被災後の調査の際は、ご協力をよろしくお願いします。
※ほかにも地震発生後の建物に関する判定として、罹災証明書を発行するための調査や、建物の復旧対策を検討するための調査があります。詳しくはお問い合わせください。

■問い合わせ／住宅課建築係 ☎880-6558

ブロック塀を点検しましょう



鉄筋入りブロック塀の場合

- ☐ 塀の高さは地盤から2.2m以下か。
- ☐ 塀の厚さは10cm以上か。
(塀の高さが2m超2.2m以下の場合は15cm以上)
- ☐ 塀の長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか。
- ☐ コンクリートの基礎があるか。
- ☐ 塀に傾き、ひび割れはないか。
- ☐ 塀に鉄筋は入っているか
(専門家に相談しましょう)

組積造(れんが造、石造、鉄筋のないブロック造)の塀の場合

- ☐ 塀の高さは地盤から1.2m以下か。
- ☐ 塀の厚さは十分か。
- ☐ 塀の長さ4m以下ごとに、塀の厚さの1.5倍以上突出した控え壁があるか。
- ☐ 基礎があるか。
- ☐ 塀に傾き、ひび割れはないか。
- ☐ 基礎の根入れ深さは20cm以上か。
(専門家に相談しましょう)

出典：パンフレット「地震からわが家を守ろう」 日本建築防災協会 2013.1より一部改変

まずは外観で点検し、ひとつでも不適合がある場合や分からないことがあれば、建築士や専門業者に相談し、速やかに付近通行者への注意表示、補修、撤去などの対応をお願いします。

避難路に面した危険性のあるブロック塀の撤去などには、補助制度があります(最大40万円)。

詳しくはお問い合わせください。

■問い合わせ／住宅課建築係 ☎880-6558



災害危険度 新区分のお知らせ

キキクル(危険度分布)に「黒」の区分が新設されました



「キキクル(危険度分布)」とは、気象庁がインターネット上で提供する、土砂災害・浸水害・洪水害の危険度が、どこで高まっているのか地図上で確認できるツールです。

令和4年6月30日から、新たに「災害切迫」(黒)が新設されました。

「災害切迫」(黒)とは、災害がすでに発生している可能性が高い状況であるため、「危険」(紫)が出現した段階で、速やかに安全な場所に避難することが極めて重要です。

キキクルを活用して、命を守る最善の行動をとりましょう。

キキクル(危険度分布)

気象庁キキクルはこちらから →
<https://www.jma.go.jp/bosai/risk>



意 味	状 況	行 動 例
災 害 切 迫	命に危険が及ぶ災害が切迫 災害がすでに発生している 可能性が高い状況	（立ち退き避難がかえって危険な場合） 命の危険 直ちに身の安全を確保！
危 険	命に危険が及ぶ災害がいつ発生しても おかしくない状況	安全な場所(災害計画区域等の外)へ 避難する。
警 戒	災害への警戒が必要な状況	高齢者等は安全な場所(災害計画区域等の 外)へ避難する。高齢者等以外の方も、避難 の準備をしたり、避難の判断をする。
注 意	災害への注意が必要な状況	避難行動を確認する。 今後の情報に留意する。
今後の 情報等 に留意		今後の情報や周囲の状況、 雨の降り方に留意する。



災害時の安否確認に活用 災害用伝言板「web171」

web171とは、スマートフォンやパソコンなどから文字で登録された安否に関する伝言を、文字でも音声でも確認できるサービスです。(多言語に対応しています。)文字でも確認できるところが、「災害用伝言ダイヤル(☎171)」とは異なります。

自分の安否状況を登録するには、自分の電話番号を入力することで登録ができ、相手の安否を知りたい場合は、相手の電話番号を入力することで、伝言を受け取れます。重要なポイントは名前を入力する際はひらがなで、姓名の間にスペースを空けないことです。

毎月1日と15日や、防災週間などに「web171」と検索して体験利用すると、自分自身と大切な人の安否確認ができるようになります。

■問い合わせ／危機管理課 ☎880-6575